

授業科目名	日本語表現技法　Xクラス			科目コード	G5701P01
英文名	Structural Elements of Japanese Expressions				
科目区分	教養科目 - 人間理解科目				
職名	教授	担当教員名	大谷 孝行		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	社会で生活する際に、コミュニケーション能力は不可欠であり、日本語を使うことは、私たちにとって一生関わっていかねばならないことです。この授業では、大学生活を送るうえで必要な様々なスキルを習得しながら、日本語を使って「読み・書き・話し・聴く」能力を全般的に高めます。				
キーワード	日本語	レポート	論文	スピーチ	
到達目標	敬語、文法、語彙、表記、漢字などの面から、正しい日本語を意識して使うことができる。				
	レポートや小論文を、適切なルールにしたがって書くことができる。				
	聞き手にとって分かりやすいスピーチをすることができる。				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業内容についてのオリエンテーション。 日本語能力を高める(1)。敬語の正しい使い方を学ぶ。助動詞の「れる」「られる」。「お(ご)～になる」と「お(ご)～する」。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】	
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第2回	日本語能力を高める(2)。動詞の種類と「れる」「られる」、「せる」「させる」。「ら抜き言葉」と「さ入れ言葉」。 スピーチの仕方についての説明。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】「ら抜き言葉」とは何かを調べておく。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第3回	日本語能力を高める(3)。語彙について学ぶ。類義語と対義語。二語の関係を正しく把握する。 学生によるスピーチ(1)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】二語の関係を表す、包含、用途、原料、部分の関係とは何かを調べておく。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第4回	日本語能力を高める(4)。「言葉の意味」から日本語を考える。熟語の意味、多義的な言葉、慣用句など。 学生によるスピーチ(2)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】国語辞書を使って、動詞が文脈によって多義的な意味を持つことを確認しておく。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第5回	日本語能力を高める(5)。日本語の「表記」について学ぶ。送り仮名、仮名遣い、同音異義語。 学生によるスピーチ(3)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】「じ」と「ぢ」の使い分けはどのようにするのかを調べておく。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第6回	日本語能力を高める(6)。間違えやすい漢字について。漢字の部首。 学生によるスピーチ(4)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】「へん」や「つくり」などの漢字の成り立ちを調べる。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第7回	これまでの総まとめ。中間テストと解説。	
	【予習】	
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分

第8回	対人関係とプラス思考。他者とコミュニケーションをしていく上で、いたずらに不安を強めない考え方を学ぶ。 学生によるスピーチ(5)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】認知療法とは何かを調べておく。	30分
	【復習】認知療法における「自動思考」のうち、自分に当てはまるものは何かを考える。	40分
第9回	文章表現の基本を学ぶ。話し言葉と書き言葉。 学生によるスピーチ(6)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】「話し言葉」と「書き言葉」の違いについて、具体的な例を自分で調べておく。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第10回	小論文・レポートの型について学ぶ。 学生によるスピーチ(7)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】作文と小論文との違いは何か、調べておく。	30分
	【復習】授業で学んだ型に沿って、興味のあるテーマについて小論文の要約を書いてみる。	40分
第11回	マッピングをする。発想の可視化。 学生によるスピーチ(8)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】シンブルマッピングとは何か調べる。	30分
	【復習】興味のあるテーマについてマッピングをしてみる。	40分
第12回	レポート・論文の書き方。「守るべきルール」。引用の仕方、注の付け方。 学生によるスピーチ(9)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】他者の作品などを引用する際、どうすれば著作権侵害にならないのかを調べておく。	30分
	【復習】実際にレポートを書く場面を想定し、引用作法にしたがってレポートの骨格を描いてみる。	40分
第13回	様々な言語表現。図形や画像を言葉で表現する。 学生によるスピーチ(10)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】数学の図形の定義（例: 直線、円、平行・・・）について調べておく。	30分
	【復習】授業中に行った問題について復習する。	40分
第14回	メモを取るトレーニング(1)。聞き取った言葉をできるだけ多く文章化する。 学生によるスピーチ(11)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】メモを取る利点とは何かについて考えておく。	30分
	【復習】開講中の他の授業で、実際にできるだけメモを取ってみる。	90分

第15回	メモをとるトレーニング(2)。Newsを聞いてメモを取る。 学生によるスピーチ(12)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】新聞記事の構成のうち、見出しやリードの役割を調べておく。	30分
	【復習】開講中の他の授業で、実際にできるだけメモを取ってみる。	90分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 1 については、課題の提出と期末試験により評価します。(60%) 到達目標 2 については、期末試験により評価します。(30%) 到達目標 3 については、授業中のスピーチにより評価します。(10%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 人間性：80%、 社会性：20%		
使用資料 <テキスト>	・『大学生生活のためのツールブック』	使用資料 <参考図書>	授業中、随時指摘します。
授業外学修等	授業で扱った問題を復習すること。		
授業外質問方法	オフィスアワー等を利用して、直に質問をしてください。		
オフィス・アワー	月曜日 2 時限、324 研究室		